

平成31（2019）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2	開講 学年	4 学年
----	----	----	------	-----	---	----------	------

学習概要 および 学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動やエネルギーへの関心を高め、観察・実験などを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
---------------------	--

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価欄
1 学期期末 まで (15 時間)	巻末 物理量の測定と有効数字 1 章 物体の運動 1 節 運動の表し方 ①速さとその表し方 ②等速直線運動 ③速さと速度、変位 ④速度の合成と相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動	●身近な物理現象について、物理量の測定と表し方(単位や有効数字)を理解できた。 ●物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解できた。 ●速度が変化する物体の直線運動に関する資料を基に、速度と時間との関係を見出し、物体が直線運動する場合の加速度を求めることができた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2 学期中間 まで (14 時間)	1 章 物体の運動 1 節 運動の表し方 ⑦自由落下運動 ⑧鉛直投げ下ろし運動・鉛直投げ上げ運動 ⑨水平投射運動・斜方投射運動 2 節 力 ①力 ②力の合成・分解 ③力のつりあい	●物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動との関係について理解できた。 ●物体に様々な力が働くことを理解できた。 ●物体に働く力のつりあいを理解できた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2 学期期末 まで (13 時間)	1 章 物体の運動 2 節 力 ④作用反作用 ⑤摩擦力 ⑥圧力と浮力 3 節 運動の法則	●物体に一定の力を加え続けた時の運動に関する資料を基に、物体の質量、物体に働く力、物体に生じる加速度の関係を見出して理解できた。 ●運動の三法則を理解できた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3 学期期末 まで (12 時間)	2 章 エネルギー 1 節 運動とエネルギー	●運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解できた。 ●力学的エネルギーに関する資料を基に、力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解できた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 参考図書	高校物理基礎新訂版（実教出版）
学習方法	①授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ②疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印をつけておくこと。 ③疑問点の解決を目指し授業に参加すること。 ④授業で作成したノートを使って、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。
評価方法	①毎時間の「ノート」、「ワークシート」、「質問カード」、「出席状況」を成績に入れます。 ②実験時の「実験に取り組む態度」、「実験操作」、「実験結果の考察」を成績に入れます。 ③単元ごとに行う「単元テスト」の結果を成績に入れます。 ④単元ごとに課す「レポート」を提出してもらい、内容に応じて成績に入れます。 ⑤毎学期の「定期考査」の結果を成績に入れます。

